

平成 26年 10月 14日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

(依頼者)
〒569-1195
住所 大阪府高槻市朝日町3番1号
事業者名 サンスター株式会社
担当者所属 ライフサイエンス事業部研究開発部
担当者名 杉森 優
電話番号 072-682-4595
電子メールアドレス masaru.sugimori@jp.sunstar.com

専門職によるアドバイス支援事業 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の一環として行う、介護ロボット等の「専門職によるアドバイス支援事業」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. アドバイス支援事業 依頼概要書 (別紙)

2. 会社概要 (任意様式)

1932年の起業、1941年の創業以来サンスターは企業活動の価値軸を社是である「常に人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕する」に置き、歯磨、歯ブラシ、デンタルリンス、ヘアケア・スキンケア製品、食品、石けん・洗剤、化学品等の製造をお客様に提供し、健康産業として奉仕して参りました。

会社設立	1950年(昭和25年)11月
資本金	100億円
従業員数	915人(2014年6月30日現在)
本社所在地	〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3番1号
電話	072-682-5541(代表)

3. これまでの福祉用具・介護ロボットの開発実績がわかる書類 (任意様式)

※実績がない場合は、提出不要

(書類の取り扱い等について)

- ご提出いただく「アドバイス支援事業 依頼概要書 (別紙)」は、介護施設等とのマッチングのために公開いたします。公開可能な範囲において、できる限り記載してください。
- 「アドバイス支援事業 依頼概要書 (別紙)」は、介護施設等とのマッチングに際して、インターネット等を通じて登録協力施設等へ情報提供します。
- 依頼する案件について、適切なアドバイスが行える介護施設又は団体等が現れない場合には、実施できない場合もあることを予めご承知置きください。

(別紙)

平成 26年 10月 14日

アドバイス支援事業 依頼概要書

1. 希望する事業の枠組み (いずれか希望する方に○印を付けるか、事務局までご相談ください。)

1. 介護職員等との意見交換	○
2. 専門職によるアドバイス支援	

2. 依頼者の概要

事業者名	サンスター株式会社		
担当者名	杉森 優		
担当者連絡先	住所	〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3番1号	
	電話	072-682-4595	
	電子メールアドレス	Masaru.sugimori@jp.sunstar.com	
主たる業務	住環境改善を目的とした製品開発、ナノバブル技術を応用した環境改善方法の開発		
主要な製品	住環境改善を目的とした建材や日用品、ナノバブル生成装置の応用製品		
希望する施設等の種類・職種等	介護やリハビリテーションの現場の状況やニーズに詳しい理学療法士、作業療法士、介護士あるいは介護現場の問題解決に日常的に取り組んでおられる方		
アドバイス(意見交換)を希望する地域	大阪、神戸、京都の近畿圏、あるいは東京、神奈川、千葉の首都圏		
その他			

3. 機器開発コンセプトあるいは試作機の概要 (可能な範囲でご記入ください)

機器の名称(仮称)	室内・生活自立型多機能電動車いす(名称は未定)		
試作機の有無及び機器のコンセプト (試作機あれば写真を添付)	試作機の有無	1. 有り ・ 2. 無し	
	機器の目的及び特徴 <機器の目的> 一人暮らしの高齢者が住宅内の狭い廊下でも、軽量で小回りが効き、安心して利用ができ、かつ従来にない人間工学に基づく座り心地よさと、ベッド等との移乗のし易さを兼ね備えており、長時間電動車いすに座って過ごすことができる。更に、安心見守りシステムを装備し、遠隔地の介護者が安否や健康をリアルタイムに確認できる。 この電動車いすを使用することで、自分の力で生活できるという自信を取り戻し、もっと何かやってみたいというモチベーションを向上する。 <機器の特徴> ①介助者無しに室内移動できる電動車いす ・日本の家屋の廊下で時速1~2kmでゆっくり移動し、回転が可能：最小回転半径45cm以下 ・ホームエレベーターに対応可能：前進と後進ができる。 ・住宅の床を傷つけずに移動可能な、軽量な車体、車輪をもつ車いす：重量20kg以下 ・人間工学に基づく設計により、座り心地が良く、長時間の乗車でも疲れにくい：連続8時間座っていても腰などが痛くならず、褥瘡(じょくそう)にならない。		

	<p>②各住宅設備機器の高さに合わせやすく、移乗のしやすさを考慮し、見守りシステムを追加した車いす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いすの高さ、角度の自動調整機能 ・移乗のサポート機能：いすそのものが回転できる。移乗のときはロックがかかる。 <p>③安全対策と見守りシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家具などの障害物や人にぶつかる前に、障害物をキャッチして止まる停止機能 ・緊急通報システム ・見守りシステム：日常の電動車いすの使用状況や、電動自動車いすからの転落など不慮の事故時にリアルタイムに関係者に自動的に連絡される。 ・ヘルス・チェックシステム（オプション）：アーム・サポート部にパルスオキシメータを装備し、いつでも、手軽に「血中酸素飽和度」と「脈拍数」をチェックできる。 <p><電動車いすのイメージ></p>  <p>The image shows five conceptual sketches of an auto chair. From left to right: 1. 'Relax Style' is a low-profile, rounded chair with a light blue seat and backrest. 2. 'Sporty Image' is a more upright chair with a yellow seat and backrest, and a thin, curved frame. 3. A third sketch is a high-back chair with a pink seat and backrest. 4. 'High Grade' is a high-back, high-grade chair with a yellow seat and backrest, and a more complex frame. 5. A fifth sketch is a high-back chair with a white seat and backrest, and a more complex frame. A silhouette of a person is shown on the right for scale. The text 'Idea Sketches for Auto Chair' is at the top, and 'VIZUOKE DESIGN' is at the bottom right.</p>
<p>想定する使用者及び使用方法、使用環境</p>	<p>使用者、使用方法、使用環境</p> <p><使用者および使用環境></p> <p>脳卒中やその他病気が原因となって1人で歩行が困難な高齢者で、自宅で1人で生活しているかあるいは高齢者のみ夫婦だけで生活をしている高齢者。主に要介護2の認定者で1人で歩行が困難な高齢者。使用環境は、バリアフリー化などの対処を施した日本の住宅を想定している。</p> <p><使用方法></p> <p>ベッドから電動車いすに容易に移乗し、電源を入れ、ジョイスティックによる簡単な操作で、リビングやキッチン、トイレなど室内の目的の場所へ移動ができる。充電は就寝時に常時止めて置く場所で100Vの電源で非接触で自動的にできる。</p>
<p>現在の開発状況と課題</p>	<p>現在、開発コンセプトと構想に基づいて、具体的な目標を検討しているところです。その中の重要な項目について、</p> <p>①座り心地のよい電動車いすについて：人間工学に基づくデザイン科学の第一人者、千葉工業大学の上野義雪先生と連携をして検討を進めています。</p> <p>②小回りが効くコンパクトな電動車いすについて：弊社は小型EV用のホイールインモーター式の駆動・制動ユニットを開発しており、電動車いすへの適応を検討しています。</p> <p>③軽量な電動車いすについて：</p>
<p>特にアドバイス（意見交換）を希望している事項</p>	<p>まず、上記のような開発コンセプトの電動車いすの市場性（ニーズ）があるのかどうかお聞きしたいと思います。その上で、さらに考慮すべき要件と真に利用者に喜ばれる斬新性と実用性の両立についてアドバイスをいただきたいと思います。また、安全性の確保についてもアドバイスをお願いします。</p>
<p>その他</p>	

(注) 必要に応じて記載欄を増やして記入してください。